

設備点検システム

設備点検システムは、紙ベースの点検・検査業務を大幅に効率化します

設備点検システムの導入により、今まで書類で運用していた設備や備品の点検管理がモバイル端末から直接行えるようになります。

従来の作業工程



書類式点検の流れ

- ① 帳票ソフトや専用ソフトでの帳票作成、印刷
- ↓
- ② 点検票へ手書きで結果を記入
- ↓
- ③ 点検結果をサーバーへ登録
- ↓
- ④ 点検結果の確認と承認

設備点検システム導入後



作業漏れ防止！

**二度手間を減らして
作業効率UP！**

検査システムの流れ

- ① ブラウザから点検項目の作成
(一度作成した点検項目は
繰り返し使用できます。)
- ↓
- ② 点検結果をモバイル端末から
直接登録
- ↓
- ③ ブラウザから点検結果の
確認と承認

用途例

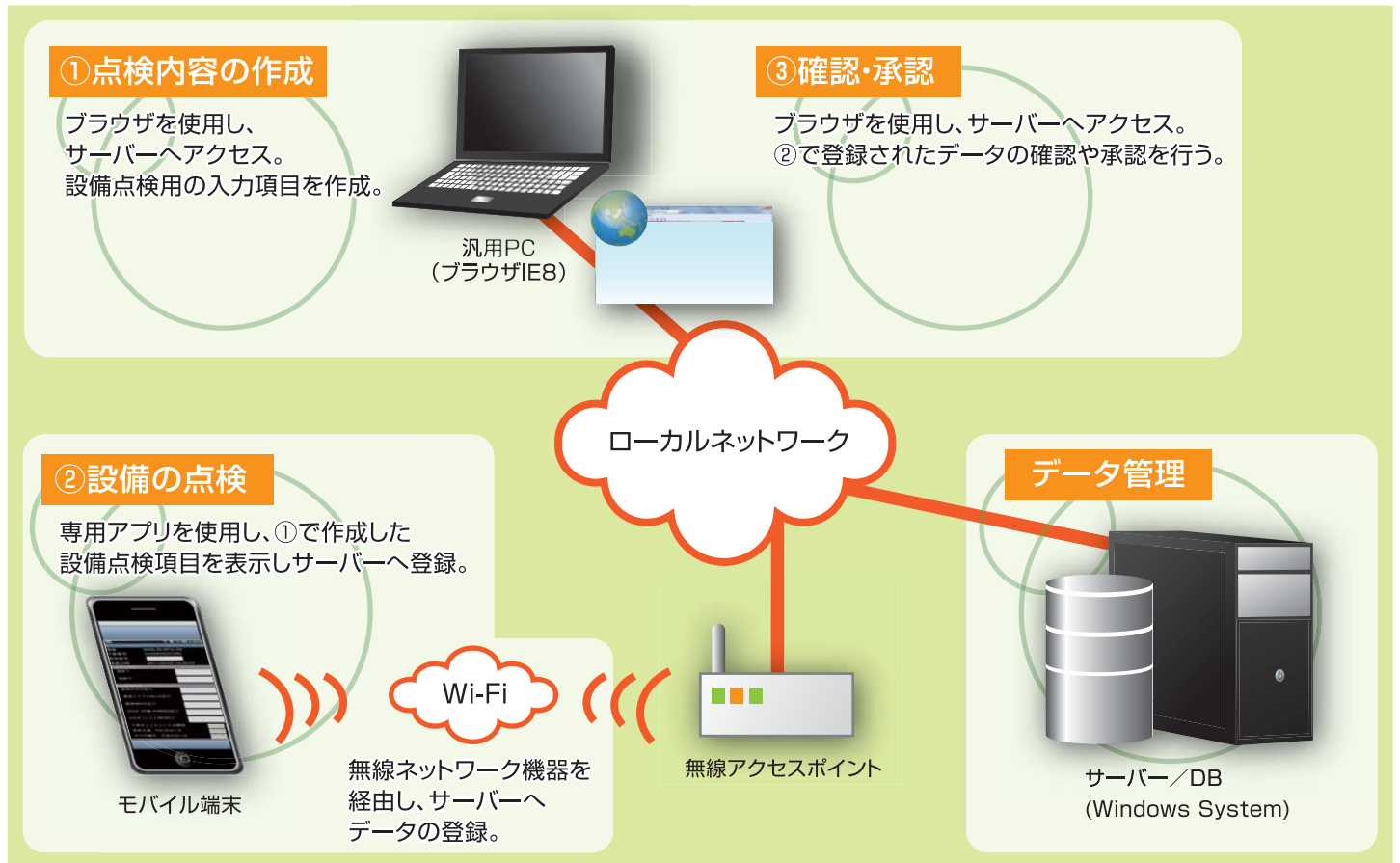
1. 施設内での各種設備点検
2. 納品物の受入検査
3. 生産工場の品質検査、出荷検査
4. 農林水産物の出荷検査

お客様の社内の環境・運用に合わせたカスタマイズを承ります。

※ 費用については別途見積もりが必要です。

システム構成

点検結果の入力はモバイル端末で行い、入力データはサーバーにあるDBへ保存されます。
点検内容(形式や項目)の作成と、結果の確認・承認は、ブラウザから行えます。



※インターネットは経由しません。ローカルネットワークでの運用となります。
また、データの登録には常時ネットワーク接続が必須となります。

主要諸元

モバイル端末(別途必須)

No	項目	規格	備考
1	Android OS	2.2以降	※Galaxy Tab(SC-01C) iOS対応予定
2	無線通信	Wi-Fi(802.11a/b/g/n)	※モバイル端末及び、無線アクセスポイントの仕様による。 ※5GHzの一部帯域は屋外使用禁止。
3	有効通信範囲	無線：屋内 約25m 無線：屋外 約50m	※無線はモバイル端末及び、無線アクセスポイントの性能や環境に依る。
4	有効無線接続台数	1アクセスポイントに付き約10台 (アクセスポイント同時設置13台)	屋内50m/屋外100m以内でのアクセスポイント設置は3台までを推奨。 ※実際には無線規格、環境に依る。

サーバー側

No	項目	規格	備考
1	サーバーOS	Windows Server2008	別途必須。
2	DBシステム	Microsoft SQL Server 2008 R2	別途必須。
3	汎用PC	Internet Explorer 8以降	別途必須(最低1台)。 これ以外のブラウザは表示位置のズレ等あり。
4	ユーザー数	最大9999人	スーパーユーザー1人(※1)を含む。
5	管理設備数	最大10万点	管理内容(期間別に登録する等)に依る。

※1:入力や承認等、全権限を持ったユーザー。

●Microsoft、Windows、Windows Server 2008、Microsoft SQL Server 2008 R2、Internet Explorer 8 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

●iOS は、米国 Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。ライセンスに基づき使用されています。

●「Android」および「Android ロゴ」は、Google Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

●記載されている各社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

株式会社 NCE

〒963-0107 福島県郡山市安積三丁目301番地 TEL:024-937-1050 / FAX:024-937-1051

URL:http://www.nce.co.jp/ Mail:info@nce.co.jp

2013.06